

都市環境の快適性に関する市街地住民の意識調査

九州共立大学工学部 学生会員 大平 智治
九州共立大学工学部 正会員 片山 正敏

1. はじめに

都市生活者にとって、水の音や風の音は、時として心地良く感じることもあれば、不快に感じることもある。快適で住みよい都市環境の創出にあたっては、このような音環境の快適性にも配慮した、基本計画が大切である。この観点から、今般は都市環境の快適性に関する市街地住民の意識についてアンケート調査を実施したので報告する。

2. アンケート調査の概要

北九州市・中間市の市街地住民に対するアンケート調査の概要を表 - 1 に示す。調査場所は北九州市および中間市の市街地区においてアンケート調査票を配布・留置・回収の方法により行った。

3. 回答者の属性

(1) 回答者の性別、年齢

回答者の性別は、女性：56.9%、男性：43.1%と、女性のほうが多い。年齢では、20歳代の回答者が31人と一番多くなっている。(図 - 1 参照)

(2) 回答者の職業

回答者の職業は、会社員が43人と多く、続いて、学生30人、その他(年金生活者など)19人、専業主婦17人となっている。反対に少ないのは自営業の7人である。

4. 地域の清潔さに関する快適性

ゴミの処理に関する快適性について、「ゴミの分別は守られているか」、「ゴミの置き場は守られているか」、「ゴミ出しの日時は守られているか」を比較した(図 - 2 参照)。ゴミの分別では住民の約28%、ゴミの置き場では、50%、ゴミ出しの日時では約45%が“非常によい”と回答しており、“ややよい”を含めると、それぞれ約60%、約74%、約68%が満足しているといえる。ゴミの分別については、手間がかかることもあり、やや満足度が低くなっているようである。

5. 地域の景観(ポスターなど)に関する快適性

地域の景観に関する快適性について、「ポスターなどが大きすぎて景観が損なわれていないか」、「期限

表 - 1 アンケート調査の概要

調査対象	北九州市・中間市の市街地住民
調査期間	平成16年8月中旬～9月中旬
調査方法	居住地を訪問し、配布・留置・回収により行った。
調査項目	属性3、地域の清潔さに関する快適性6、地域の景観(ポスターなど)に関する快適性5、緑地に関する快適性6、騒音に関する快適性6、河川・池・用水路に関する快適性5、公共交通機関に関する快適性5、(合計33項目)
有効回収率	122部(有効回答部数116部) 95.1%

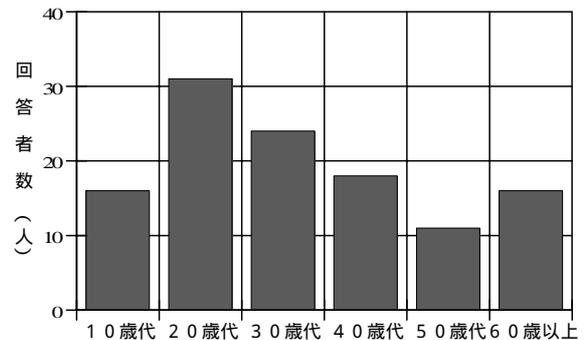


図 - 1 回答者の年齢

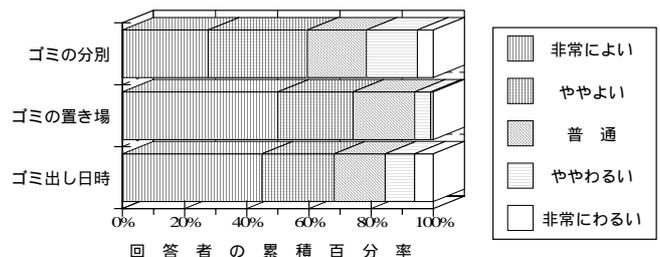


図 - 2 地域の清潔さ(ゴミの処理)に関する快適性

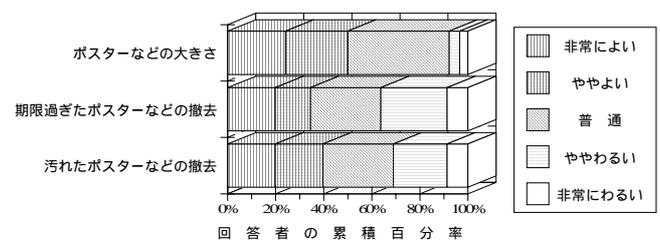


図 - 3 地域の景観(ポスターなど)に関する快適性の過ぎているポスターなどは撤去されているか、「汚れているポスターなどは撤去されているか」について検討した(図 - 3 参照)。“非常によい”と“や

やよい”を含めると、ポスターなどの大きさでは50%、期限超過ポスター撤去では約35%、汚れたポスター撤去では約40%の住民が満足と回答している。

6. 緑地の管理に関する快適性

緑地の管理に関する快適性について、「公園の遊具は整備してあるか」、「公園の入口は車両止めしてあるか」、「夜間の安全性は十分あるか」について検討した(図-4参照)。“非常によい”と“ややよい”を含めると、公園の遊具整備では約53%、公園の車両止めでは約58%、夜間の安全性では約38%がよいと回答している。夜間の安全性について満足度が低いようである。

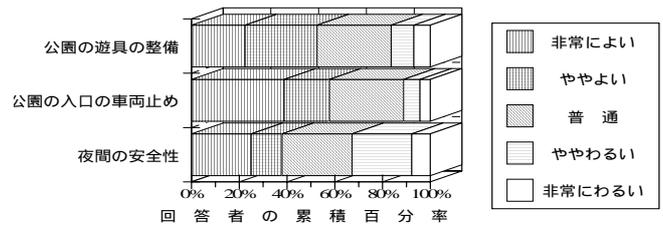


図-4 緑地の管理に関する快適性

7. 騒音に関する快適性

工事による騒音に関する快適性について、「昼間の工事音」と「夜間の工事音」を比較した(図-5参照)。

“非常によい”と“ややよい”を含めると、昼間の工事音では約29%、夜間の工事音では約47%の住民がよいと回答しており、夜間は約半数近くの住民がよいと感じている。

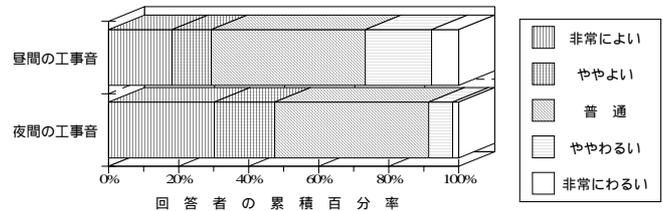


図-5 工事の騒音に関する快適性

7. 公共交通機関内でのマナーに関する快適性

公共交通機関(バス・JR電車)内でのマナーに関する快適性については、「携帯電話の電源は切っているか」、「大声で談笑していないか」、「床に座っていないか」を検討した(図-6参照)。

“非常によい”と“ややよい”を含めると、携帯電話の電源切断では約19%、大声での談笑では約33%、床に座るでは約58%がよいと感じており、全般的にマナーがよくないと感じられている。

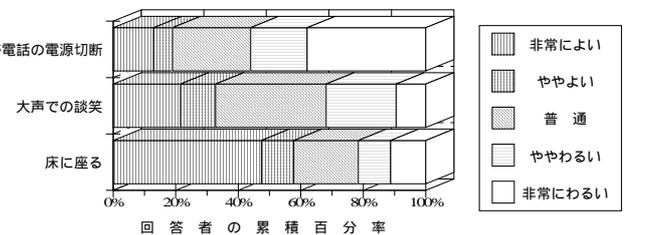


図-6 公共交通機関内でのマナーに関する快適性

8. SPSSによる分析結果

SPSSを用いて、「地域の景観(ポスター・看板・広告など)に関する快適性」に関して、コレスポンデンス分析を行った(図-7参照)。分析した項目は、ポスター・看板・広告などの大きさ、案内板(道路・公園)の設置場所、案内板(町内行事)の設置場所、期限の過ぎたポスター・看板・広告などの撤去、汚れているポスター・看板・広告などの撤去の5つである。

ポスターなどの大きさや案内板(道路・公園)に対しては、同じような反応を示しており、よいと感じている。汚れているポスターなどの撤去や期限の過ぎているポスターの撤去に対してはわるいと感じていることが分かる。

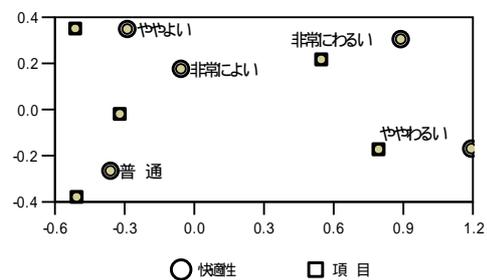


図-7 コレスポンデンス分析結果 (地域の景観)

9. まとめ

今般のアンケート調査により都市環境の快適性に関する市街地住民の意識として、地域の清潔さ、緑地に関しては全般的に満足と感じているが、地域の景観、騒音、公共交通機関内でのマナーに関しては不満足と感じていることが分かった。

都市環境についての住民意識は、地域によりかなり違ってくるため、今後さらに調査が必要と思われる。